

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 エンジョイリズム		
○保護者評価実施期間	令和6年10月21日		～ 令和6年11月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和6年10月21日		～ 令和6年11月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団支援と発語に特化した個別支援の両方を同じ日に受けることができる療育	発語を音楽で行う発語リズムの上級指導資格を持ったプロの音楽家の職員が滞在し個別にて発語レッスンを行うことができると同時に集団での療育にも力をいれており集団生活に生かすことができる療育にも力を入れている	音楽を使って発語を即するスキルを持った言語聴覚士に非常勤講師として勤務して頂けるよう交渉中。さらに高度で専門的な言語個別支援を導入することを目指している
2	5領域の支援をバランス良く取り入れている療育であること	事業所設立以来ずっと守っている療育の柱が5つの領域を網羅したプログラムで構成されていること。職員も専門性に優れており心理・音楽・運筆をはじめ多くの資格を所有しており質の高い療育を提供することができている。	個々の職員の力量がしっかり発揮できるようさらに情報を共有しチームとして支援できるよう全員で努力する
3	職員間の情報共有の徹底と父兄に提供する情報量が多いこと	毎日の打ち合わせやフィードバックにしっかり時間を取り職員間の情報の共有がしっかり図られている。また療育の様子が手に取るようにわかるとご父兄にご好評を頂いている写真付きの綿密なサービス提供記録を日々公開していること	今の状況と同じく丁寧な情報共有ができることをずっと継続できることを目指していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルやBCPは策定され公表しているが従業員や父兄に内容がしっかり理解して頂けていない	日々のフィードバックの時間ではサービス提供時の事しかお伝えする時間がないため	イベントや父兄会の際に時間を確保し、ご父兄に直接ご説明、ご質問頂く機会を一年に何度か設けることが必要
2	人員基準を満たしているが職員の増員がなかなかできない	応募者は多いが専門性を重視して当事業所が提供するプログラムを支援して頂けることが重要なので人選が難しい	積極的な雇用対策を図る一方、現職のスタッフからの紹介も募り、近隣教育機関等にも働きかけ常に情報を公開、収集する
3	ペアレントトレーニングのように保護者向けの研修や従業員全員での研修会を多く儲けることができていない	ご父兄や従業員からは様々な研修会の要望があるが時間的に設定が難しくいつも参加者が限られてしまう。	ご父兄、職員共に日程を工夫し一人でも多くの方に参加して頂ける研修を企画する